

平成29年度県産農林水産物等の輸出実績について

平成29年度の県産農林水産物等の輸出実績について、別添のとおりとりましたので、ご報告します。

当実績は、本県施策の重要な指標のひとつとして、毎年度調査しているものです。

○平成29年度県産農林水産物等の輸出実績の概要

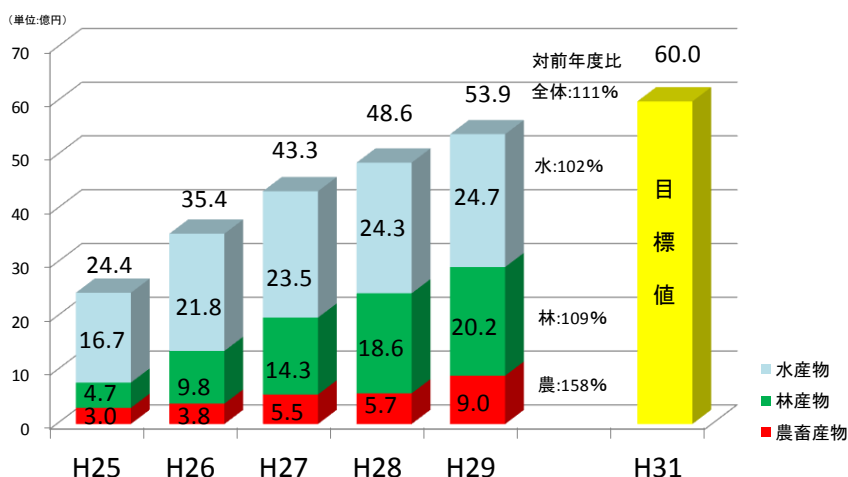
- ・「熊本復旧・復興4カ年戦略」における目標を2年前倒しで達成。
- ・本県産農林水産物等の輸出額は53億9千万円となり過去最高を更新。(対前年度比111%)
- ・部門ごとの輸出実績は次のとおり。

	平成29年度輸出実績	(参考)平成28・27年度輸出実績	
	輸出金額(対前年度比)	平成28年度	平成27年度
農畜産物	9億0千万円(158%)	5億7千万円	5億5千万円
林産物	20億2千万円(109%)	18億6千万円	14億3千万円
水産物	24億7千万円(102%)	24億3千万円	23億5千万円
合計	53億9千万円(111%)	48億6千万円	43億3千万円

流通アグリビジネス課・林業振興課・水産振興課調べ
(県が輸出を把握している団体・業者への調査)

平成29年度県産農林水産物等の輸出実績

(県調べ)

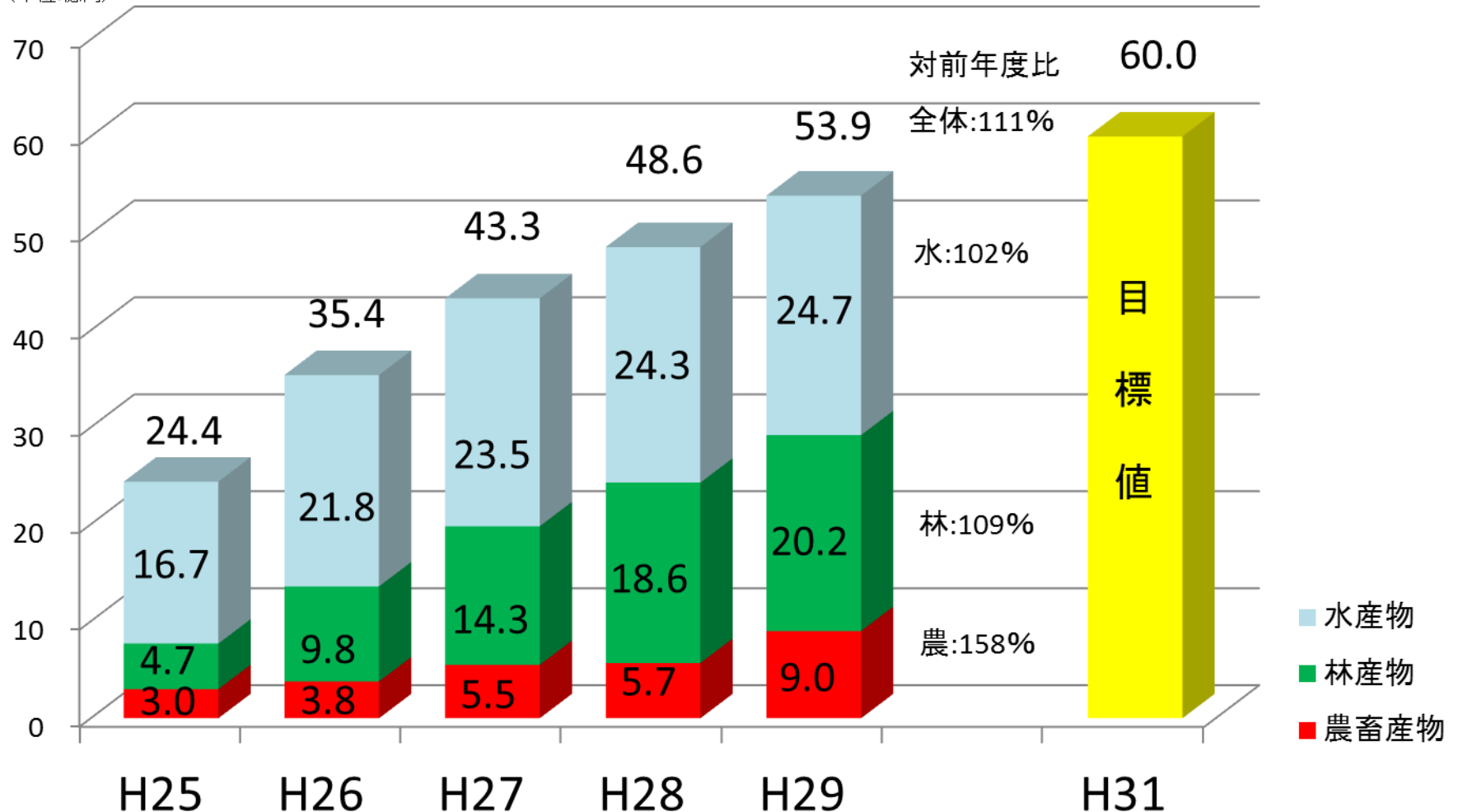


お問い合わせ先
 流通アグリビジネス課
 渡辺・松本 <内線: 5396 (直: 096-333-2395) >
 林業振興課
 山下・藤田 <内線: 5640 (直: 096-333-2446) >
 水産振興課
 堀田・宮本 <内線: 5677 (直: 096-333-2457) >

平成29年度県産農林水産物等の輸出実績

(県調べ)

(単位:億円)



- 平成29年度県産農林水産物等の輸出額は過去最高を更新し、53億9千万円となった。
- 農林水産物いずれも順調に輸出を伸ばし、対前年度比111%となった。
- 「熊本復旧・復興4カ年戦略」における目標を2年前倒しで達成した。

各部門の概要

① 農畜産物

〈概要〉

- アジアを中心に、日本産農畜産物への高い関心と検疫条件緩和による市場拡大により、主力品目の牛肉やいちご等が順調に増加。
- 既存国・地域へのさらなる輸出拡大と、新規国・地域の市場開拓を図るため、バイヤー招へいや現地での販売プロモーションなど、商談機会の創出に取り組んだ。



シンガポールでのプロモーション
(単位:千円)

【平成29年度 農畜産物等の品目別・国別輸出状況】

	米	かんしょ	いちご	梨	牛肉	牛乳	加工品	その他	合計	対前年度比
香港	5,098	5,360	76,350	280	272,491	28,667	64,169	37,968	490,383	156%
台湾	3,288	2,126	218	12,232	118,051	6,482	8,731	1,478	152,606	678%
シンガポール	15,079	8,004	1,886	0	93,841	1,212	8,404	2,419	130,845	250%
アメリカ	2,179	0	0	0	59,828	0	1,959	0	63,966	50%
カナダ	0	0	0	0	11,176	0	0	12,067	23,243	103%
その他	449	473	366	0	17,811	1,923	10,474	4,261	35,757	127%
合計	26,093	15,963	78,820	12,512	573,198	38,284	93,737	58,193	896,800	157%
対前年度比	165%	70%	137%	183%	174%	182%	156%	103%		

〈品目別の輸出状況〉

- 輸出の約6割を占める牛肉は香港や台湾、シンガポール向けを中心に順調に増加。
- 牛乳は、香港や台湾向けを中心に順調に増加。
- 米は香港、シンガポールの業務用向けを中心に順調に増加。
- 梨は中秋節のギフト需要により順調に増加。
- かんしょは、国内需要の高まりから輸出は減少。

② 林産物

〈概要〉

- 国内需要の増加もあり、丸太の輸出量は若干減少したものの、アメリカ向け製材品の伸びなどにより輸出量は前年度並みに推移し、輸出額は増加した。
- 東アジアを中心に加工・流通状況の調査、住宅総合展示会出展、製材品のテスト輸出、海外バイヤーとの商談等を実施し、新規国への販路開拓に取り組んだ。

【平成29年度 県内港からの木材輸出実績(国別・品目別)】

輸出国名	丸太		製材品		合計		対前年度比 (金額)
	材積(m3)	金額(千円)	材積(m3)	金額(千円)	材積(m3)	金額(千円)	
中国	94,202	1,165,123	1,492	39,621	95,694	1,204,744	118%
韓国	25,752	550,462	745	47,285	26,497	597,747	78%
アメリカ	-	-	4,063	198,366	4,063	198,366	536%
ベトナム	443	7,550	96	4,447	539	11,997	32%
台湾	242	9,191	-	-	242	9,191	1111%
カナダ	-	-	39	1,966	39	1,966	-
合計	120,639	1,732,326	6,435	291,685	127,074	2,024,011	109%
対前年度比	97%	103%	183%	156%	100%	109%	

※出所:「財務省貿易統計」.対象HSコード[4403][4407][4409].税関区分上「米ノ津港」の実績も含む。

〈品目別の輸出状況〉

- 県産木材・建築技術・和空間をコンセプトとした「和室」等の輸出が中国、台湾、タイ王国で進行中。
- 平成28年度から開拓を進めてきたアメリカ向け製材品(戸建て住宅フェンス用)の輸出が定着しつつあり、今後の伸びも期待できる。
- 中国では型枠用や木質パレット用の低質な材(B~C材)の需要が高い。昨今は家具用・棺桶用としての大径木の輸出も伸びている。
- 韓国・台湾では、日本産のヒノキが人気であり、家具用、内装用として丸太が輸出されている。



「九州国際観光広場(通称:KISS福岡)」内における「和室」のモデル施工

③ 水産物

〈概要〉

- 北米、EU、アジア(韓国、香港、台湾、シンガポール等)向けに、ブリ、マダイ、カンパチ等の養殖魚を中心に輸出を行っており、昨年度から新たにオーストラリアに向け輸出を開始した。輸出国によって増減はあるものの、全体の輸出額としてはやや増加した。
- 市場拡大が期待されるアジア市場への販路拡大のため、香港等において商談を実施するとともに、香港、マカオ等のバイヤーを招へいた。

【平成29年度 水産物の魚種別・地域別輸出状況】

(単位:千円)

	ブリ	マダイ	カンパチ	その他	計	対前年比
北米	1,397,728	290,190	75,285	61,014	1,824,217	110%
アジア	218,075	307,331	9,094	71,400	605,900	83%
韓国	75,501	289,336			364,837	81%
その他	142,574	17,995	9,094	71,400	241,063	88%
EU	29,612	2,526	1,444	4,180	37,762	89%
オーストラリア	59	13			72	
計	1,645,474	600,060	85,823	136,594	2,467,951	101%
対前年比	96%	105%	153%	140%	101%	

〈品目別の輸出状況〉

- ブリ:アジア向け輸出は増加したが、北米、EU向けの減少により、輸出額は減少。(対前年比96%)
- マダイ:北米向けの取引拡大により輸出額が増加。(同105%)
- カンパチ:北米、アジア向け取引拡大により輸出額が増加。(同153%)



香港における商談